

第91回愛知県中央メーデーによせて

新型コロナウイルスの世界的流行の中、働く者が5月1日のメーデーを機に、世界の労働者と連帯し、働く者の職と生活を確保し、人間らしく生活できる日本社会を作ろう

1848年、共産党宣言で「万国の労働者よ団結せよ」とマルクスとエンゲルスが宣言し、

1863年、リンカーン大統領が南北戦争のゲティスバーグで、人民の、人民による、人民のための政治を地上からなくさないために決意すると演説し、

1886年、5月1日、アメリカの労働者が、8時間労働制を要求しストライキを決行した。

75年前以前の植民地支配と侵略戦争で、朝鮮人労働者を低賃金か無給で使い、中国人や連合国の捕虜を牛馬以下に使役した。働く者を酷使したことを反省しない日本政府と企業は、今また労働者に低賃金・長時間労働を強いている。

134年経っても、日本ではメーデーが求めた人間らしい生活ができていない。

172年前、マルクスたちが「万国の労働者よ団結せよ」と呼びかけたが、決して「万国の労働者よ働け」とは言わなかった。働くだけでは、労働者の生活は豊かにはならないことを確信していたからだ。団結して、ストライキを構えたとき、賃金は上がり、労働条件は改善された。

国鉄解体・民営化以降、日本の労働運動は押さえつけられ、正規・非正規と労働者が分断されそして支配されてきた。ストライキのない日本社会で、労働者の生活が豊かで人間らしくなったか。

リーマンショックでは派遣社員が職と同時に住まいを失った。今、新型コロナウイルス感染を理由に非正規雇用労働者が職を失い、中小零細企業は倒産の危機に瀕している。生活の危機にある人は生活保護制度を使い、コロナ後の社会を見据えよう。公衆衛生も、医療・介護制度もとっても危ういこの日本社会をコロナを機に変えよう。

日本の労働者は、万国の労働者と団結しよう。

社民党愛知県連合